

ロームがLP出資ならびに優先株式の引受け完了、資金の借入実行を発表―財務構成の悪化が懸念されるが、直ちに格付に影響せず

以下は、ローム株式会社（証券コード：6963）がLP出資ならびに優先株式の引受け完了、資金の借入実行を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は22日、TB投資事業有限責任組合への1,000億円の出資とTBJホールディングスが発行する2,000億円の無議決権優先株式の引受けの完了、ならびにこれらの資金として金融機関から3,000億円の借入を実行したことを発表した。TBJホールディングスは日本産業パートナーズ（JIP）が東芝（証券コード：6502）の株式に対する公開買い付けを目的として設立した買収目的会社TBJHの親会社である。また、TB投資事業有限責任組合は、JIP及びそのグループ会社が管理・運営する投資ファンドであり、本組合はTBJホールディングスに出資を行うことになっている。なお、本件は「東芝の株式非公開化に参画し、同社の抱える課題の解消に協力すること」が主目的とされている。
- (2) 当該借入の実行に伴い財務構成の悪化が懸念されるが、直ちに格付に影響しないとJCRは考えている。24/3期第1四半期末における自己資本比率は83.0%と極めて高い水準にある。同期末における有利子負債の水準は低く、自己資本や手元流動性には厚みがあり、当該借入の実行後も強固な財務基盤を維持することは可能と考えられる。一方、近年は積極的な成長投資に伴い投資額が増加傾向にあり、固定費の負担も重くなりつつある。今後の業績・財務、キャッシュフローなどの動向をフォローしていく。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

【参考】

発行体：ローム株式会社

長期発行体格付：AA-

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル